

平成28年度第4回瀬戸市女性活躍推進及び男女共同参画審議会議事録

◇日時：平成29年度2月24日（金）午前10時30分～11時45分

◇会場：市役所4階庁議室

◇出席者：（順不同敬称略）

<審議会委員> 東村博子 杉山仁朗 大橋良宣 村瀬毅 横井寿史 中井康代 福永富夫
前田孝子 宮村恵美子 山本隆三 青山一郎

<市>瀬戸市長 伊藤保徳

（事務局）交流活力部長 横山彰 交流学び課長 田口浩一 課長補佐 井上紀和
学び係長 大矢幸子 主事吉田晶男

◇欠席者：（順不同敬称略）

<審議会委員> 松下絵美 中村貴美子 萱岡愛

1 パブリックコメントの結果について

事務局より資料1に基づき、結果の報告を行った。

2 トライアングルプランⅢ最終案について

第3会審議会での委員意見の反映箇所について資料3に基づき事務局より説明を行い、プラン最終案として資料2のとおり委員の承認を得た。

3 トライアングルプランⅢに基づく具体的事業について

事務局より資料4に基づき説明を行い、委員からの質疑及び意見交換を行った。

いただいた委員意見を踏まえ、3月議会での平成29年度予算確定後、事務局より関係課に関連事業の予算と事業内容の再確認の作業を行い、平成29年度の事業計画をまとめ、次年度第1回審議会ですすこととした。

（意見等内容）

◆取り組み「『ツクリテ』支援」について（資料4 1 - 2頁）

【会長】1-2の「ツクリテ支援」は、女性のエンパワーメントや就労支援につながるものだと考えるが、女性に限定するものではなく、男女ともに行うものか。

→【事務局】性別によらず働き方の支援という枠で、男性も含めたものとなっている。ツクリテ支援は、新たな働き方という視点で、空屋の活用と連動し瀬戸での起業を推進していくものである。女性のエンパワーメントは、起業に限らず、再就職やキャリアアップ、働く上での子育てのブランクの解消について後押しができるような支援を想定している。

【会長】予算額からみると「ツクリテ支援」には力を入れて取り組まれると思われる。魅力的な事業であれば、女性のエンパワーメントの視点から、どこかに女性に特化した支援や取組を盛り込んでいただきたい。

→【事務局】仕事塾について、半数以上が女性という現状を踏まえ、担当課と調整していく。

【青山委員】瀬戸でモノづくりをする芸術大学卒業生がいる中で、女性の方も多し。ツクリテ支援は女性の多様な働き方にふさわしいものであると感じる。女性の感性をモノづくりに活かし、新たな

分野を切り開いていくきっかけにもなるのではないかと。瀬戸の産業にも活かしていけると良い。

【会長】可能な限り女性の活躍ができる取組をするということが書かれていると、さらに良いのではないかと。性別にかかわらず支援することも重要だが、男女が同等の評価であった場合に、女性の参画が少ない分野やエンパワーメントに繋がる取組は、女性を優先的に支援するという一文があっても良い。

【青山委員】女性が地域で活躍できる場としての、ツクリテ支援として掲載していきたい。

◆基本施策「働き方の見直しと多様な働き方への支援」について（資料4 1-2頁）

【横井委員】女性活躍セミナーにおいて働き方の見直しや、ワークライフバランスの推進に取り組むとなっているが、男性の働き方にメスを入れるような事業が欲しい。基本施策の「男性の家庭参画の促進」もあるが、基本施策「ワークライフバランスの推進」や「働き方の見直しと多様な働き方への支援」においても、男性に特化し強化できる事業があると良い。また定年後の生き方や年代に応じ、男性の働き方に向けたセミナーがあると良い。

【会長】女性活躍推進セミナーの内容に、男性の意識改革も含めた事業となるよう記載していただくと良い。

◆取り組み「男性の家事技術等の取得支援」について（資料4 1-6頁）

【副会長】現実の今の生活は、男性が厨房にはいって、女性と同じようなことをすることは不可能に近いと感じる。生活の様式のパターンも様々になり、コンビニや外食も増え便利になっている。必ず一から自炊しなければならない環境ではなくなっている。もっと合理的に暮らせるような知識の提供があっても良いのではないかと。新しい生活の知恵、パターンなどを取り上げていただいた方が男性には取り組みやすい。「男性の家事技術等の取得支援」について、利便性を利用する知識を得るようことを入れていただきたい。

【会長】「男性の家事技術等の取得支援」は、事業内容に「生活術の取得支援」という言葉を入れていただいてはどうか。単なる料理教室だけではなく、様々な生活術を身につけてもらう。最近妻を介護する男性が増えている。男性の生活術を向上させるという視点で、老後を見据えた生き方改革を支援すると良い。

◆男性相談の設置に関する検討について（資料4 3-1頁）

【山本委員】「女性の悩み事相談」で、DVに対応していると思うが、問題の解決として男性の理解が不可欠である。現状として加害者の多くは男性であると思うが、加害についての男性からの相談も受け付けることはしているか。DVの場合、被害者を守るために、加害者と切り離すことが前提になる。しかし、男性の加害行為の防止や改善の支援、精神的支援を行い、問題行動をなくす必要がある。男性の相談を受け入れる体制が必要。男性がDV被害者の場合もある。性別にとらわれず相談の対応は可能か。

→【事務局】男性からの子育てや夫婦間のいざこざに関する相談など、女性相談員の知識で対応できるものは受け付けているが、DVに関連する内容での男性からの相談は慎重に対応している。このため、女性相談の窓口で男性も相談できることは積極的に広報していない。男性の相談も受け付け可能と広報した場合、DVの相談を被害者・加害者の両者から受けるケースが発生し、加害者のストーキング行為や、相談員への加害行為が危惧されるため、避けているのが現状である。

男性相談窓口については、予算の都合や相談員の選定などすぐに対応できないが、今後の課題として検討をしていきたい。

◆事業「男女共同参画啓発セミナー④」のライフプランの実現の支援について（資料4 3-3頁）

【中井委員】「男女共同参画啓発セミナー」は①～④までであるが毎年4回セミナーをそれぞれ開催するというのか。ライフプランに関するセミナーの対象は市民といっているが、一番は中高生だと考える。対象はどう考えているのか。

→【事務局】男女共同参画啓発セミナー④にあげている予算は、①～④全ての予算となっているため、毎年全てを開催できるとは限らない。その場合隔年などローテーションで各内容のものを実施するなど対応を考えている。対象を「市民」と広くとらえ記載しているが、開催するセミナー等のテーマに応じて、高校生など対象を絞って実施していく。

【会長】働く女性が、仕事を優先することで、子どもを持つことを希望しながらも出産適齢期を逃してしまうことがある。35歳を過ぎると不妊治療もなかなか成功しない現状があることから、将来子どもを望む方が、希望するライフプランを実現するために必要な知識であると考え、前回の審議会から私から提案させていただいた。これから仕事する若年層を対象に、体の知識を早くに得て、自分のライフプランを考えるということは大事である。知識がある上で、高齢出産を選択することもあるだろう。不妊治療の支援は重要なことであるが、知識があれば不妊治療に至らずに済むものもあるかもしれない。

◆基本施策「計画の進捗管理」について（資料4 4-2頁）

【会長】女性活躍・男女共同参画について、様々な部署にわたる取り組みを統括する機関はどうなるのか。

→【事務局】女性活躍・男女共同参画に関する庁内会議体として、関係課長と各部長が委員である「女性活躍及び男女共同参画参画庁内会議」があり、情報共有や数値目標の管理、取り組みの検討を行う。その上に本審議会が位置付けられ、計画の進捗管理と助言の役割を担うことが条例に定められている。

4 答申について

事務局においてこれまでの審議会意見を基に作成した答申書案を示し、委員間で討議を行った。討議の結果、別紙について答申書として承認を得た。

（討議内容）

【村瀬委員】本プランにおいて性的マイノリティへの理解を盛り込み、計画全般の表現において可能な限り「男女」という表記について配慮するとしたが、答申書事務局案の下記（1）について、「女性活躍」という表記について整合性が取れていないように感じる。

【会長】（1）の部分には、「性別にかかわらず」という文言をいれてはどうか。現状として、まずは遅れている女性の活躍を推進する。そのことによって、性的マイノリティを含めて、すべての人が活躍するという意味合いもある。「性別にかかわらず」という一文を入れ、女性だけではないということを再度述べることで、整合性を測りたい。

5 その他

事務局より、次の事項の連絡を行った。

- ・今後の策定及び会議等スケジュール（資料5）
- ・瀬戸市の女性活躍推進ロールモデル集「チャレンジ SETO STYLE」の発行

◆答 申◆

審議会での審議事項の終了後、東村会長から市長に答申をいただいた。

<市長挨拶>

長期間にわたり、ご議論いただき感謝いたします。瀬戸市が一組織として、市内事業所のロールモデルとなり、女性活躍・男女共同参画推進に取り組んでいくことが、最も重要であると認識しております。各事業所の置かれている状況や取り組みは様々で、一つの取り組みが全てに精通するものではありませんが、組織一丸となって気持ちを統一し取り組んで参ります。今後も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。ありがとうございました。